

令和4年度学校評価報告書

令和5年(2023年)3月24日

北海道教育委員会教育長 様

北海道恵庭南高等学校長 大 浦

充



次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 1 勤労と学業を両立させる強い意志と、社会の変化に柔軟に対応できる基礎的能力を育成する。
- 2 自ら学ぶ目標を定めさせ、主体的・自発的な学習態度を育成する。
- 3 一人一人の個性を生かし、社会の発展に寄与することのできる人間を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導 生徒指導	- 個々の生徒に応じたきめ細かい指導により、基礎基本の定着を図った。 - 個人面談、健康相談を充実させ、生徒理解を深めた。いじめの案件に対しては、組織的かつ迅速丁寧に対応した。	- 多様な特性を持つ一人ひとりに向き合い、適切な指導を継続してほしい。 - コロナ禍でも学校祭や見学旅行等、感染対策を行い実施できたことは評価できる。数少ないよい思い出になった。
改善方策	生徒の心情に寄り添いつつ、悩みや課題の解決解消のために、ICT機器の有効活用をはじめ個々の生徒に対応した学習支援の充実を図る。	
進路指導	- 進路相談員による講話や個別の相談、面接指導を通じて進路意識を高められた。 - 受験対策として、特定の科目で少人数指導や補習を実施。Web出願の支援も行い希望大学に合格を果たすなど成果が出た。	4年間を見通した計画的な進路指導、個々の進路希望に応じた指導を望む。 - 幅広い進路に対応した指導に向けて、外部機関との連携に努めてほしい。
改善方策	外部講師等を積極的に活用し、様々なアプローチにより、早期から個々の進路目標の明確化を図る。保護者への情報提供、相談活動を実施する。	
地域との連携	- 学校行事や総合的な探究の時間だけでなく、生徒募集においても、市や定通振興会と連携した対策を検討すべき。 - 学校紹介の充実を図り、校内外で情報共有、進学相談の機会を設定できた。	- 教育活動に今後も地域の人材を有効に活用した取り組みを継続してほしい。 - 教育活動が随時掲載されている。定期的な更新を継続してもらいたい。
改善方策	ホームページの更新を継続し、家庭や地域に学校情報を発信し、理解を深める。また、PTAや定通振興会との連携を強化し、地域の人的・物的資源の有効な活用を推進するとともに、地域社会に信頼され、選ばれる学校づくりに努める。	
公表方法	1 学校ホームページ 2 PTAだより 3 学校評議委員会	

3 添付資料

- (1) 恵庭南高等学校定時制課程令和4年度学校評価結果(自己評価書・学校関係者評価書)
- (2) 保護者アンケート結果